

2016年 KSRスーパーエンデューロ競技規則

共通事項	
参加ライダーの厳守事項	<p>1、レース中は競技規則にしたがって行動し、参加者は全ての行動に責任を持たなければならない。</p> <p>2、競技参加にあたり、競技中、競技に関連して起こった障害、死亡、事故などで受けた損害に対し、主催者及び大会役員、会場管理者に対し非難や責任の追及、または損害賠償の請求はできない。3、競技規則や競技役員の指示に従わなければならない。</p>
ライダーの装備	安全のためにヘルメット、ゴーグル、グローブ、オフロードブーツは必ず着用する。
参加車両規定	<p>1、ヘッドライト、バックミラー、サイドスタンド、ウインカー等の保安部品は取り外すか飛散防止のためテーピングを施すこと。2、有効に機能する消音器を装着しなければならない。3、トレール車のパーツ交換は以下の各部に限る。ハンドル及びその付属品、ケーブルワイヤー、フットレース、タイヤ（レース用タイヤはm f j公認に限る）、フェンダー、シート、点火プラグ、ペダル類、スプロケット、エアクリーナーエレメント、エアフィルター（エアクリーナーボックスの交換・取り外しは不可）、メインスイッチ（キルスイッチの取り付けは義務とする）、チェーン、オイル類及び保護部品の追加、キャブレターセッティングパーツ類、サイレンサー・チャンバー（但し騒音規制クリアのもの）</p>
ゼッケン	参加車両は前面、左右側面に主催者から指定された番号と色のゼッケンを準備すること。文字サイズは高さ14mm幅8mm ストローク25mmを最低寸法とします。デザインは自由とするが誤認の可能性（特に「1」と「7」）がある場合は車検で不相当と判断し修正の上再検査をお願いします。
車両検査	<p>1、参加車両は主催者の行う車両検査に合格したものでなければならない。車両検査をパスしなければ参加者側事情による棄権としてレースへの参加をお断りいたしますし、それによる競技参加料の返金は致しませんのでご注意ください。車両検査はタイムスケジュールに定められた時間内で何度でも受けられますが、事前に十分確認した上でご来場願います。</p> <p>2、車両検査に合格した車両はステッカーを主催者が貼付する。このステッカーは出場レース前に確認いたします。</p>
タイムスケジュール	レース当日配布のパンフレットにタイムスケジュールを記載致しますが、諸事情や天候により変更になる場合がございます。変更の際は場内放送でご連絡します。
競技前のピットエリアへの移動	全競技・全クラスとも競技中のピットエリアはスターティンググリッド後方のピットエリアに限ります。工具・燃料などレースに必要なものは前もって搬入してください。またピットエリアへの競技車両以外（自転車も含む）の乗り入れは禁止します。競技中は駐車場とピットエリアの全車両の通行を禁止します。連絡通路は閉鎖し人以外の通行は出来ません。
スタート前のマシンチェック	エントリーしたレースの前のレースが始まりましたら全車ゼッケンのチェックを行いますのでウェイティングエリアに集合してください。集合状況によらず時間になりましたらレースを開始いたします。
計時	計時（ゼッケン確認ポイント）通過時は必ずライダー自身で計時待機側とフロントのゼッケンが目視で読み取れるか確認してください。また周回チェック時に読取れないか誤認の可能性があると判断する車両のゼッケンはカウントしません。周回数に関わるクレームはお受けいたしませんので前もってご了承願います。以前にレース中にマシン強制停止でゼッケンをチェックしていましたが計時ポイントでのコース上の強制停止はライダー、役員共に危険を伴うため廃止します。計時ブース通過時にライダー各自でゼッケンが読取れるか確認してください。
コースのショートカット	故意に定められたコース以外の走行を一切禁止します。コーステープのレース中の損傷による場合であってもライダーはコースをレース前に確認しているものと判断し、コース外へ出た地点へ戻りレースに復帰しない限り罰則の対象とします。また、ショートカットは競技役員が判断するもので、他の参加者からの報告は該当ライダーへの確認と厳重注意として処理いたします。
罰則	安全に関わる規定以外への反則に関連して参加レースへの最終周回数から反則回数ごとに1週の減算をします。
レース中の合図	<p>1、日章旗 — スタート（ヘルメットタッチスタート時と耐久レース時）</p> <p>2、2、チェッカー旗 — レース終了</p> <p>3、黄旗 — （静止）危険予告、（振る）危険予告・徐行・停止準備・追い越し禁止</p> <p>4、赤旗 — レース中止</p> <p>5、黒旗 — 指定車両の走行停止</p>

安全の確認	コースマーシャル（コーナーなどに黄旗を持って立っている）はエンデューロ競技という都合上配置しません。ライダーは積極的な危険回避に努めてください。コース上には色々なレベルのライダーが走行していますので、出口の見えないコーナーやジャンプへの進入は十分に注意して下さい。転倒した場合は、まずコースからの退避を第一に行い、次に他のライダーの危険とならない様に車輛の移動を行ってください。
マシントラブル	マシンの整備・修理はピットエリア内で行うこと。パドックへ戻れないコース上のトラブルはコース外の安全な場所へマシンを移動後、オフィシャル（コースマーシャル）に知らせる事。競技本部で第2ライダー又はピットクルーの連絡をとります。その後、競技本部許可後に工具・パーツを退避場所まで運んで修理することが出来ます。再始動できないマシンは全競技終了後までコースから搬出できない場合があります。故障車をピットに搬送するときは、オフィシャルの指示に従いコース外の最短距離を押してくることが出来ますがその周は周回数にはカウントされません。
失格事項の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1、 強引な進路妨害、危険行為と認められる場合 2、 オフィシャル、競技役員、大会規則に従わない者 3、 未登録マシン・ライダーが走行した場合（マシン変更も含む） <p>如何なる場合でもコースの逆走を禁止します（違反した場合は即時失格とします） 危険行為の判断は競技長が判断する。</p>

競技別の進行について	
A. キッズ・レーサー65・50ccオープン	
競技方法	キッズクラスのみとレーサー65・50ccオープンの混走として各2ヒート（1ヒート15分）で行います。競技時間は天候などで変更になる場合があります。
練習走行	レース前に各クラス合同で1週の練習走行を行います。必ず参加してください。練習走行後、レーサー65と50ccオープンのライダーはウェイティングエリアで待機して下さい。
スタート方法	ヘルメットタッチかスターティングマシンを使うかは競技長が判断します。 ヘルメットタッチスタートの場合はエンジン始動後、左手でヘルメットを触れた状態で待機して下さい。その後日章旗でスタートの合図とします。また、フライングと判断した場合はレッドフラッグによる全車停止後再スタートになります。
キッズクラス特別ルール	キッズクラスは走る楽しさの中でのライダー育成として開催いたします。天候によりコースの難易度が高いと審判長が判断した場合は保護者のレース中の援助を認めます。但し他のライダーも同じ様に援助して頂ける事をお願いします。
競技終了	規定時間終了後トップライダーがフィニッシュライン通過時にチェッカーフラッグにより競技終了になります。
順位計算	順位獲得ポイント計算はMFJ競技規則に準じます。
B. 1時間・4時間耐久エンデューロ	
スタート方法	定められたスタートエリア（スタート位置はエリア内で自由）からマーシャルを先頭に1週のローリングスタートで競技を開始します。如何なる理由があってもローリング中はマーシャルを追い越す事は禁止します。周回後定められた地点で日章旗を役員が振りますのでそこから正式なレースの開始となり、競技時間の計測を開始します。
ライダー交代	ライダー交代の場所はピットエリア内だけです。
ピットイン・ピットアウト	ピットイン・ピットアウトの地点にはそれぞれ看板があります。特にピットアウトの際は必ず一旦停止して本コース走行中のライダーへの接触に十分に注意してください。 ピットエリア内の走行は徐行です。他のチームや子供に配慮して下さい。
オフィシャルの補助	レース中はコース内をオフィシャルが走行しながらコース状況の確認を行います。レース中のライダーが特に危険な状況を除きオフィシャルはライダーを援助致しません。本部への連絡などは協力しますが、スタックや転倒については基本的にライダー自身で対処して下さい。
コースの変更	天候等により競技に支障が出る場合に限り競技中にコースを変更する場合があります。
競技終了	規定競技時間を経過した時点でチェッカーフラッグにより競技終了とし、計時と周回数のカウントを終了します。また競技終了後にフィニッシュラインを通過した車輛又は同レースのトップチームの周回数の80%に達したチームを完走とします。